

工事名：赤江町地区配水管布設替(その1)工事

質問	回答
<p>発注者からの事前の工事説明・説明会等は当該所轄警察・周辺工場/業者・地域住民には十分に行われているでしょうか。また学校施設がありますが、施工日への制約などがある場合、明示してください。</p>	<p>地域住民への説明は受注者が確定後、町内会長を通じて、文書等で地域住民に周知し、高等学校に対しては個別に案内、説明を行います。 なお、受注者と沿線住民及び高等学校との協議により制約が生じた場合や、予見できない事象が発生した場合には受注者とその対応について協議をします。</p>
<p>設計断面に砂質土、と明記されておりますが、これは土質調査をした結果と考えてよろしいでしょうか。路盤改良などでの掘削工程の変更、また土質などにより受け入れ先の受入金額が大きく変動しますが、それら場合は設計変更・金額変更にて対応していただけますでしょうか。</p>	<p>既設管台帳の資料から、砂質土と想定しておりますが、現場条件に変化が生じた場合は受注者と協議します。</p>
<p>設計書において公共残土受け入れ箇所が記載されておりますが、想定している建設発生土受け入れ箇所は隣接工事含む本件の発生土量すべての受け入れを間違いなく無条件で可能との返事を受けての選定でしょうか。また相手先より受け入れ不可能・条件付き受け入れなどがあつた場合の受け入れ業者の再選定、及びそれにかかる金額の変更は設計変更にて対応していただけますでしょうか。</p>	<p>建設発生土の搬出先は、土木標準積算基準書に基づき、現場から一番安価の場所を選定しています。設計書で明示した公共残土仮置場において、受入不可の場合は受注者と協議します。</p>
<p>各本設の既設管連絡箇所が非常に狭い、または部材の配置等、仮設配管との寸法・施工の整合性が取れないように感じます。仮設配管の仮設配管の詳細明示、既設管連絡の施工プロセスの明示をお願いいたします。また現実施工の際の部材・掘削量の追加等は設計変更・金額変更にて対応していただけますでしょうか。</p>	<p>既設管連絡箇所は、既設管と新設管及び仮設管の連絡について寸法等の整合がとれるよう設計をしております。また、仮設時の既設管連絡工は設計時点では連絡型式のみの指定とし、具体の施工方法については受注者と協議をし決定しております。試掘調査の結果により配管設計と現場での差異が生じる場合受注者と協議致します。</p>
<p>工期の設定が降雪時期であることを考えると非常にタイトなものになっているように感じます。週40時間労働制が厚生労働省・労働基準監督署でも推奨されておりますが、工期・施工期間の設定はそれを元に算定されていると考えてよろしいでしょうか。また以前水道事業実務必携に基づき工期の設定をしている、とご返答いただきましたが、「具体的に何ページの基準・数値に基づき算出」しておられますかページ数の提示でのご返答をお願いいたします。</p>	<p>配水支管(φ300以下)においては配水管設計基準(富山市上下水道局)のP.57～P.59に基づき、降雨等による不稼働日、祝日を考慮して工期設定をおこなっております。</p>